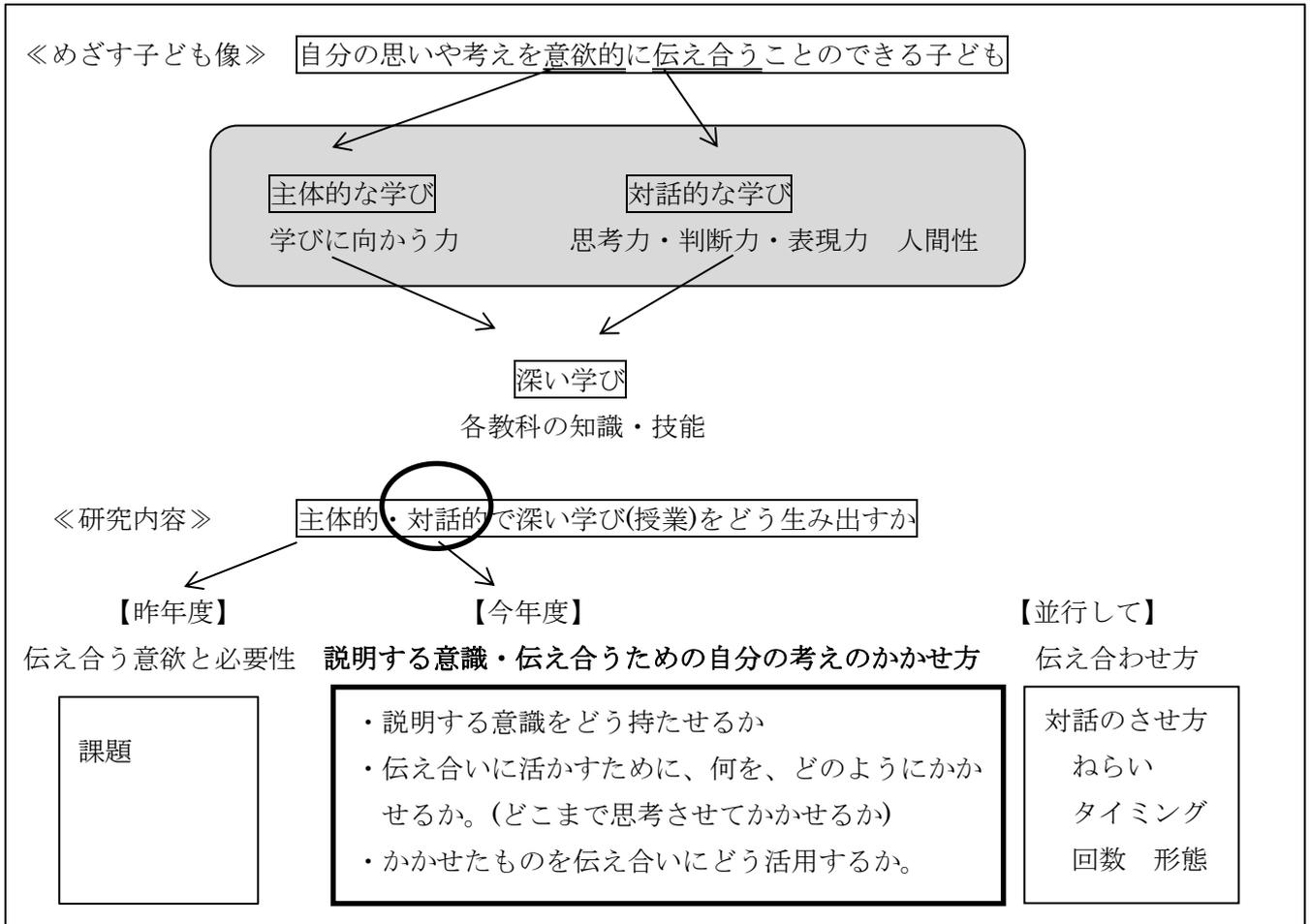


資料①



資料②

4 主題設定の理由概要

本校は、同研究主題を掲げ、一昨年度までの3年間は国語科で、昨年度からは、算数科で研究に取り組んでいる。「自他の思いや考えを大切に、意欲的に伝え合う子どもの育成」をめざす本校の研究は、新学習指導要領が求めている主体的・対話的な授業をどうつくるかという研究であると捉える。また、本校は、今年度から2年間、大分市基礎学力向上研究推進校の指定を受けている。本校のめざす主体的・対話的で深い学びのある授業は、基礎学力を向上させる授業である。

これまでの研究により、考えを持ち、伝えることはできるようになっているが、意欲的な伝え合いや、練り合い納得解を得るといった主体的・対話的で深い学びのある伝え合いの実現には至っていない。算数アンケートからも、自分の考えを書ける子が87%であるのに対して、式や図を使って自分の考えを説明できる子は75%と12%少ないという実態が明らかになった。このことから、説明することを意識して自分の考えを書いていない・書かせていないため、自分の考えを書くことが、伝え合いに十分に活かされていないことが分かった。子どもたちは、何を求めるための式なのか、どうしてその式にしたのか、その答えは何を意味しているのかなど、思考をせずに自分の考えを書いているため、式と答えのみを書いて終わっており、その後の伝え合いにおいても思考過程の話し合いにまで深まらないという実態になっていた。これらのことから、伝え合いにつながるように、説明することを意識して、図や数、式などの根拠を基に自分の思考過程を記すなどの自分の考えのかかせ方の工夫が必要であることが課題として残った。

よって、今年度は、「説明することを意識した自分の考えのかかせ方の工夫」に焦点化して研究を継続・深化させ、自他の思いや考えを大切に意欲的な伝え合いができる主体的・対話的な授業により深い学びを実現し、基礎学力向上をめざすため、本主題を設定した。